

H30春に開催の「市長と語る会」での提言等と回答要旨について

滑川西地区

提言等の項目	H30春に開催の「市長と語る会」	
	皆様からいただいた主な提言等	その際の回答要旨
①空き家対策 (1)	領家町は空き家が多く、先日も相続放棄された空き家が倒壊した。空き家を取り壊してほしいが、更地になると、固定資産税が6倍になると聞いた。税金が上がるため、空き家を取り壊すことができず、相続放棄せざるを得ないこともあるのではないかと思う。何か対策はできないのか。	固定資産税は、住宅用地の特例として、家が建っている場合は、その土地の税額が6分の1になりますが、更地となった場合は、この特例の対象外となるのが法令で定められています。相続放棄をされても、土地の管理自体は放棄できないため、空き家の管理を促すしかないと思います。 空き家対策について、抜本的な解決策はありませんが、市では空き家の取り壊しを促す取り組みとして、危険老朽空き家の解体費用の補助(上限50万円)を行っています。
②空き家対策 (2)	空き家の室内についても、片付けずに放置されていることがあるが、市に要望すれば、所有者に連絡をとってもらうことは可能か。	市にご要望をいただければ、所有者を調べ、空き家を適切に管理するようご連絡させていただきます。
②空き家対策 (3)	空き家について、町内会長に所有者の連絡先を教えてもらえば、町内会として対応することができると思うが、連絡先を教えてもらうことはできないか。	空き家の所有者の連絡先については、個人情報になるためお伝えすることはできませんが、市から、所有者に連絡をし、町内会長等に連絡してもらうように伝えるなど、町内会とも連携しながら対応していきたいと考えています。
④沖田川の水門	雨が降ると沖田川の水門が閉まり、沖田川放水路へ水が流れるため、沖田川の支流に水が流れなくなってしまう。雨がやみ、川の水位が低いのに水門が閉まったままの時もあり、支流の砂泥の堆積の原因となっている。	沖田川の水門にはセンサーが付いており、水位が上がれば自動で水門が閉まるようになっています。併せて、新川土木センター職員が遠隔操作できるようになっているとも聞いています。以前にも「雨が降っていないのに、水門が閉まっている」というご連絡をいただいていることから、県には伝えていますが、防災を重視しているため、水門を閉めているようです。水門の開閉については、今後、県と連携して、対応していきたいと思います。

H30春に開催の「市長と語る会」での提言等と回答要旨について

滑川西地区

提言等の項目	H30春に開催の「市長と語る会」	
	皆様からいただいた主な提言等	その際の回答要旨
⑤八幡堂川	<p>緑町から滑川高校の横を通り、旧海洋高校まで流れている川(八幡堂川)に、水が流れていない。特に今年は農繁期の前まで、全く水が流れていなかった。農地が減っているのに、水が減るのはおかしいのではないか。自然保護、防災の観点からも川に水が流れるようにしてほしい。</p>	<p>市街地に流れる用水のほとんどは早月川(菟輪地内)から取水しています。早月川については、早月川沿岸土地改良区が、農業用の水利権を持っており、農繁期でない時期には、川に土砂がたまらない程度の水しか早月川から取水できないという制約があります。そういった中で、八幡堂川に水が流れなくなってしまったのではないかと考えられます。また、農地に見合った分しか取水できないという国の決まりもあります。原因については確認し、改善方法について検討したいと思っております。</p>
⑥医師不足	<p>滑川高校の前のさいとう内科医院がやめられて、西地区の診療所が少なくなった。市で、医師を斡旋することはできないか。</p>	<p>以前から、産婦人科医についても、増員したいと考え、関係各所へお願いをしていますが、難しい状況です。一般の医師についても、同様だと考えますが、努力していきたいと思っております。</p>
⑦博物館	<p>博物館とは、資料を集め、展示を行い、子どもたちに教育を行う施設であるべきだが、そのような教育的観点がないのではないか。博物館がこういった活動方針を持っているのかを教えてください。また、博物館の年間利用者数はどれくらいか。</p>	<p>平成29年度の博物館の入館者数は、展示会の入館者で約1万3千人、子ども向けの体験教室等を含めると約1万5千人の方にご利用いただいたところです。滑川市立博物館は総合博物館という位置づけで、様々な分野の展示会を開催しています。また、資料収集についても大きな役割を担っており、日頃より様々な分野の資料収集に努めています。収集した資料については、まとまり次第、企画展として公開しています。</p>
⑧観光遊覧船	<p>観光遊覧船について、平成30年度は2,382万円の予算を計上し、運航していく予定とのことだが、遊覧船の利用人数はどれくらいか。また、市の活性化にどれくらいの効果があると考えているのか。</p>	<p>観光遊覧船「キラリン」の活用について、今シーズンのほたるい海上観光は、3月21日から5月6日までの47日間で、延べ1,478人の方に乗船いただきました。期間中にはマスコミにも多く取り上げていただき、収益だけではなく波及効果があったと考えています。また、富山湾岸クルージングを再開し、通年利用していく予定です。多くの方に乗船いただき、少しでも赤字にならないように運航していきたいと考えています。</p>

H30春に開催の「市長と語る会」での提言等と回答要旨について

滑川西地区

提言等の項目	H30春に開催の「市長と語る会」	
	皆様からいただいた主な提言等	その際の回答要旨
⑨赤字補填	ほたるいかミュージアムやタラソピアの赤字を毎年税金で補填しているが、計画性がないのではないか。観光客を呼ぶのであれば、宿泊施設や商業施設を整備し、税金で補填しなくても営業していけるようにすべきではないか。	まちづくりは、行政と民間の両方で行わなければ成り立たないと思います。行政の役割は、収益をあげるようなものばかりではないということもありますが、今後も様々な観点から努力していきたいと思います。
⑩ごみの分別	ごみの分別や出し方について、ごみ収集業者の要望を聞いて各町内に反映させたらどうか。	ご提言について、ごみ収集業者とこまめに連絡をとりながら、より良い分別方法等について情報提供できることがあれば、各町内に周知していきたいと思います。
⑪消毒剤	市では、町内清掃の際に消毒剤を配っているが、本来何十倍に薄めて使用すべきものを、薄めずに使用している人がいると聞いたこともある。薄めて使うように、指導してから渡した方が良くはないか。	町内清掃で配布している消毒剤(殺虫剤)については、下水道の整備に伴い、お渡しする本数は減ってきているところです。しかし、各町内でどのように散布をしているかまでは把握していないため、今後は、適正な使用方法で適正な場所に散布していただけるよう周知していきたいです。